熊歯会報

9
2010

熊本県賞　山都町立馬見原小学校5年生　山本　雄斗様

特集　「公益法人制度 改革に向けて　その3」

Kumashi　Kaihou

2010年9月15日
No.653

熊本県歯科医師会

熊歯会報 9月号

2010

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

―表紙に寄せて―

歯みがきをしているふたりが目をみあわせとても楽しそうです。

こういうふうにいつも歯みがきしてもらえれば…

（H.K）

もくじ

巻頭言（理事　竹下　憲治）…… 3

理事会 …… 4・5

特集 公益法人制度 改革に向けて　その3…… 6・7

国保だより …… 8

委員会だより …… 9～11
（学術・学校歯科・医療対策）

郡市会だより …… 12～16
（上益城、水俣、芦北、荒尾、玉名、鹿本、天草、菊池、人吉、八代）

会長の動静 …… 18

会務報告 …… 18～20

税制、歯科衛生士不足の現状

噴煙

理事　竹下　憲治

コンビニは全国に43,000店あるそうですが、歯科診療所は69,000施設とコンビニよりも遥かに多く、さらに毎年増え続けており医院経営は厳しい状況にあります。

社会保険診療報酬の所得計算の特例は、医業または歯科医業を営む個人および医療法人に対し、事業税は非課税（法人は加えて、社会保険診療以外の所得に係る軽減措置）、所得税は減免（措置法第26条および第67条）となる特別措置であり、地方税法および所得税法・法人税法の例外措置として規定されています。現行の特例は、医療機関の経営の安定を図り、地域医療に専念できるようにすることが目的とされており、事業税算出時の社会保険診療報酬は総収入に算入しないこととし、一方、所得税の計算は社会保険診療報酬が5000万円以下であるとき、４段階の階層に区分して、概算経費率を乗じた額を必要経費に算入できることとなっています。

社会保険診療報酬額	概算経費率
2,500万円以下	72%
2,500万円超―3,000万円以下	70%
3,000万円超―4,000万円以下	62%
4,000万円超―5,000万円以下	57%

日歯の平成17年度の調査によると、会員の77.8%は社会保険診療報酬が5000万円以下であり、そのうちの41%、すなわち会員の31.9%が26条特例の適用者になっています。

両特例は、平成22年度は現行のまま存続されましたが、見直しの議論を行うことが税制改正大綱に明記されています。仮に両特例共に撤廃されれば、平均所得率20%では診療報酬2250億円増、診療報酬改定率で9%増を成し遂げないと回復できないことになります。歯科医療費の適切な評価が実現されるまでは、廃止に対する危機感を持ち続けなければならないと日歯税務委員会は報告しています。

歯科治療において歯周治療や口腔ケア等は歯科衛生士の重要な仕事になっていますが、慢性的に歯科衛生士が不足した状態が続いていることから、本会では卒後何らかの理由で離職している歯科衛生士の方々の再就職を支援する為に昨年より講演会及び実習を開催して、一人でも多くの方が現場復帰をしていただく事業を行っております。

全国の就業歯科衛生士数　H20年末現在　96,442名（免許取得者　H21.2月末現在　222,412名）

安心して診療に従事でき、充実した人生を送るためには安定した歯科医院経営が必要不可欠です。

日歯の税務委員会に出向させていただいておりますので、役立つ情報を提供しそれをバックアップする形の事業を行いたいと考えますので先生方のご協力をお願いします。

就業歯科衛生士の年齢分布

	25歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
歯科衛生士	18,154人（18.8%）	18,338人（19.0%）	14,849人（15.4%）	13,904人（14.4%）	12,313人（12.8%）	9,337人（9.7%）	9,547人（9.9%）

0％　20%　40%　60%　80%　100%

一歯科医院あたり歯科衛生士数は全国平均　1,29人　一番少ない愛知　0,78人
一番多い鳥取　2,58人　　熊本　2,23人です。

理事会報告

臨時代議員会にむけて慎重審議を

― 第５回理事会 ―

８月24日（火）午後７時より県歯会館　第１会議室において浦田会長他渡辺専務理事を除く全役員出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を勇、大林理事として第5回理事会が開催された。
開　会：小島副会長

浦田会長あいさつ

本日の理事会は代議員会議長、副議長にもご出席いただき、臨時代議員会に提出する議案が中心となります。今回の臨時代議員会では、通常の決算審議に加えて選挙規則、或いは会費に関する議案を上程することになりますので、いつも以上に慎重審議を宜しくお願い致します。

さて、理事会の開催前に、熊本県障がい者支援総室より担当者がお見えになり、障がい者の差別をなくす条例についての説明がありました。これは、各関係団体との意見交換会の一環として行われたものですが、本日資料をいただいたばかりであり、その場で会としての意見を述べることは難しいものです。そこで、少し時間をいただき、先生方にも資料を確認していただき、理事者の意見を集約した上で本会としての回答をしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

また、歯科保健条例については、現在パブリックコメントの募集が行われております。資料を参考に、パブリックコメントの対応についても宜しくお願い致します。

本日も、多くの報告・協議事項がございますのでどうぞ宜しくお願い致します。

報　告

総　　務：安心・安全歯科医療推進制度運営委員会、第４回理事会、第９回・10回常務理事会、医療安全及び院内感染対策講演会、第３回・４回新法人設立検討臨時委員会、諸規則検討臨時委員会、日歯役員合宿勉強会、県による本会の業務及び財産状況立入検査

学　　術：県糖尿病対策推進会議実務研修会、精神神経疾患に関する講演会（第１回城南地区）

社会保険：保険個別指導、個別相談会

地域保健：九州口腔衛生学会・同幹事会、早産予防モデル事業、ヘル歯―元気8020支援事業、歯の衛生週間実行委員会、第１回笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ

厚生管理：未就業歯科衛生士リカバリー研修会、健康診断（荒尾市）、熊大口腔外科との打合せ

広　　報：「熊歯会報」８月号校正、９月号編集、NHKテレメッセ出演、ねんりんピック推進室取材対応

学校歯科：九州地区学校歯科医会役員連絡協議会、県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会

医療対策：各郡市医療相談担当者、県警並びに弁護士との協議会

センター・介護：障がい者歯科研修会・障がい児口腔ケア研修

学　　院：第１回・２回学院体験入学、学院運営審議会、教務委員会、実習指導担当歯科衛生士研修会

国　　保：国保臨時組合会、国保理事会

以上、７月23日から８月19日までの総務、各委員会他の動きについて、浦田会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．関係機関・団体からの推薦依頼

・支払基金診療担当者代表幹事／社会保険診療報酬支払基金熊本支部
　浦田　健二　会長
　任期：平成22年９月１日～平成24年８月31日

・熊本県保健医療推進協議会委員／熊本県健康福祉部
　浦田　健二　会長
　任期：委嘱の日～平成24年３月31日

・熊本県地域リハビリテーション支援センター運営委員／熊本地域リハビリテーション支援協議会
　松岡　拓治　理事
　任期：委嘱の日～平成24年３月31日

２．名義後援使用、講師派遣依頼

【後援・講師派遣】「子育てすくすく☆こども博2010」／株式会社テレビ熊本

【後援】第58回「手足の不自由な子どもを育てる運動」／(財)熊本県肢体不自由児協会

【後援】第55回熊本有病者歯科医療研究会・講演会／熊本有病者歯科医療研究会

【後援】第39回熊本県人権教育研究大会／熊本県人権教育研究協議会

３．熊本県による業務及び財産の検査結果
　熊本県による本会業務及び財産の立入検査が、８月６日（金）に渡辺専務理事、西野常務理事、吉永嘱託公認会計士の立会いの下行われ、県担当者より、事業関係、会計関係のいずれも問題なく適正であるとの講評をいただいた旨の報告がなされた。
４．ねんりんピック熊本実行委員会からの協賛金の協力依頼
　「ねんりんピック2011熊本」について、総合案内リーフレットへの広告協賛10万円という形で協力する旨の報告がなされた。
５．平成22年度熊本県総合防災訓練
　熊本県総合防災訓練が、９月５日（日）に人吉第二中学校において実施される。これは熊本県警察医が中心となっているが、今回は城南ブロックでの開催なので、本会会員については、人吉・球磨の会員を中心に約２０名が出席する予定となっている。
６．部活動補助金交付申請
　「熊本デンタルソフトテニスクラブ」への部活動補助金として25,000円交付する。
７．医療安全管理対策書の改定版
　医療安全管理対策書については、新たにミーティングノートを追加し、インシデント（ヒヤリ・ハット）報告書の書式を簡略化するなどの改定を施し、８月31日に全会員へ発送する。
８．早産予防対策モデル事業
　平成19年度に天草で実施された「早産予防対策モデル事業」について、平成22年度は人吉・球磨地区で行うこととなった。同事業は、全国知事会の優秀政策に選ばれる等各方面からの期待が高いものとなっている。また、今回の事業は19年度と比べて委託期間が短いため、健診期間、データ処理等について、検討する必要がある等の報告がなされた。
９．委員会事業企画
　社保委員会
　「電子レセプト請求免除・猶予届説明会」
　・事業実施予定日
　　平成22年９月18日（土）午後４時
　厚生・管理委員会
　「今変革期にある歯科医療を考える」第２弾
　・事業実施予定
　　平成22年度11月～２月頃
　学術委員会
　「安心・安全歯科医療推進制度　院内掲示ポスター」
　・同制度に関するポスターを作製する。
　「ＣＴ読影研修」
　・事業実施予定日：平成22年12月18日（土）
　「日歯生涯研修ＤＶＤセミナー＆熊本県歯科医師会会員発表」～学術研修と医院の総合力～
　・日程は検討中
10．委員会事業報告
　学術委員会「義歯裏装等講演会」
　「リライン材の正しい使い方と機能的効果ならびに義歯安定剤の正しい患者指導」
　・実施時期：平成22年７月25日　午前９時30分～12時30分
11．各会計７月現況
12．９月行事予定
13．その他
　・歯科保健条例のパブリックコメント
　　（浦田会長）
　　当日資料を確認の上、同条例のパブリックコメントへの対応についての依頼がなされた。

協　議

１．入会金・会費・負担金賦課徴収施行細則の一部改正（案）（承認）
　提案理由を一部修正し、審議経過を記載の上、臨時代議員会へ議案として上程することとした。
２．選挙規則の一部改正（案）（承認）
　同様に、提案理由を一部修正し、審議経過を記載又規則の中の民法の表現を再確認し、議案として上程することとした。

３．熊本歯科衛生士専門学院学則及び同細則の一部改正（案）（承認）
　同様に、提案理由を一部修正し、審議経過を記載の上、議案として上程することとした。
４．会務報告（平成22年度臨時代議員会）
　　（承認）
　原案通り承認した。なお、訂正等がある場合は、８月25日までに、事務局まで連絡することとした。
５．平成22年度臨時代議員会の日程資料
　　（承認）
・代議員会日程
・正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録
・有限会社ケイ・デー・エム・ユー事業報告
　すべて、原案通り承認した。代議員への送付は27日（金）とすることを確認した。
６．急病時の代診派遣制度実施要領の一部変更（案）並びに会員への通知（承認）
　原案通り承認した。尚、交通費規定の詳細については若干見直しすることとし、内容については会計担当常務理事、並びに担当理事に一任することとした。
７．会費・負担金の減免申請（承認）
　原案通り承認した。
８．第49回全日本学校歯科保健優良校表彰の推薦（承認）
　同表彰の推薦については、推薦期限が迫っていたため、常務理事会の承認に基づき既に対応を行っているが、改めて理事会において２校推薦することを承認した。
９．安心・安全歯科医療推進制度達成証の未取得者への対応（承認）
　資格がありながら未取得の会員への対応については、はがきにて、委員会名で通知し、取得を促すこととした。さらに、はがきのレイアウト、文書内容を見やすく、簡潔なものに改めることとした。また、ポスターについては、２案のうち、写真デザインのものを採用することとした。
10．その他

監事講評：片山監事、遠山監事
閉　会：前野副会長
　　（広報　加藤　久雄）

特集

公益法人制度改革に向けて その3

— 新法人設立検討臨時委員会 —

公益社団法人・一般社団法人選択の長所と短所

（1）公益社団法人選択の長所

・公益法人を名乗れることから、社会的信用の面から有利であります。
・税制上の優遇措置を受けることができます。
・法人に寄付する側にとっても税制上有利で、寄付金を受けやすくなります。
・補助金、委託金交付が受けやすくなる可能性があります。

（2）公益社団法人選択の短所

・行政庁の監督や立ち入り検査があります。
・情報公開の範囲が社員、債権者に限定されません。
・公益目的事業財産を積極的に公益目的事業に使わなければなりません。（毎年50%以上）
・公益認定取り消しのリスクがあります。（公益認定を取り消された場合他の法人もしくは国に公益目的財産を譲渡しなければなりません）
・余裕財産が遊休財産として制限されるため、財政破綻のリスクがあります。
・会員の共益事業（会員の福祉事業等）に重点を置くことができません。

（3）一般社団法人選択の長所

・収益事業以外は、非課税となります
・事業の自由度があります（一般法人法の規律のみ）
・状況に応じて公益認定を申請し、公益法人に移行することができます。
・上記（2）の公益法人の短所が緩和されます。
・会員の福祉事業は従来通り行う事ができます。

（4）一般社団法人選択の短所

・公益目的支出計画に基づき、公益目的財産額を取り崩さなければなりません。
・（収益事業課税、利子配当金課税等）税負担の増加の可能性があります。
（現状ではそれほど負担増加はないと考えられます）

【公益及び一般社団法人の比較】

法人格	公益社団法人	一般社団法人		人格無き団体(任意団体)
根 拠 法	・一般社団、財団法人法（法人法） ・公益法人認定法（認定法）	・一般社団、財団法人法（法人法）		なし
事業内容	・23の公益目的事業が主 ・収益事業	・公益事業および収益事業 ・適法であれば制限なし		特定の事業はない
目　　的	不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与	目的を問わない		なし
設立手続	設立登記後に行政庁に公益認定申請	設立登記のみ（公益法人からの移行においては定款の変更案、公益目的支出計画書等の提出が必要）		なし
社員又は設立者数	・社団２名以上 ・入会、議決制限不可	・社団２名以上		なし
理　　事	・社団３名以上（理事会設置は必須） ・親族、同一団体役員等制限有（３分の１を超えない） ・報酬が民間と同等以下 ・社員総会（代議員会）にて理事を選任	・社団１名以上（理事会設置なら３名以上）		なし
監　　事	・１名以上（理事会設置は必須） ・親族、同一団体役員等制限有（３分の１を超えない） ・報酬が民間と同等以下 ・社員総会（代議員会）にて監事を選任	・不要（理事会設置なら１名以上）		不要
会計監査人	原則１名以上（注１に該当する場合はこの限りではない）	不要（貸借対照表の負債の部の合計が200億円以上であれば設置）		不要
所 轄 庁	なし	なし		なし
監　　督	・都道府県庁（公益認定等委員会） ・内閣府（法範囲の活動等）	なし（公益法人からの移行においては公益目的支出計画書の完了まで）		なし
報　　告	公益性判定のために毎年度行政庁に提出	なし（公益法人から一般法人へ移行した場合は毎年公益目的支出計画書を提出）		なし
許認可等	公益性の認定（注２）	行政庁に認可申請等、定款変更案、公益目的支出計画等を提出		なし
設立期間	認定に相当期間（最低３カ月程度）	１カ月以内可能		なし
設立難易度	難しい	易しい		容易
信頼度 (県民及び行政)	公益性高い（信頼度高い）	なし（信頼度低い）		なし（信頼度なし）
支出制限 （事業比率）	公益目的事業を事業比率の50％以上とする	公益目的事業比率の制限なし		なし
遊休財産制限 （残余財産）	１年間の公益目的事業の実施費用に準ずる額を超えない	なし		なし
課税所得の範囲	①収益事業により生じた所得に対して課税 （公益目的事業に該当する事業は収益事業から除外） ②利子等の非課税	非営利法人	普通法人	・非課税（会費分） ・収益事業課税
		収益事業により生じた所得に対して課税	全ての所得に対して課税	
定款上の扱い （解散時）	残余財産を国や一定の公益的な団体に帰属する旨を定款に定めること	※上記の非営利法人は更に区分される		
		①非営利を徹底した法人	②共益的活動を目的とする法人	
		残余財産を国や一定の公益的な団体に帰属する旨を定款に定めること	残余財産を特定の個人又は団体（公益的な団体等を除く）に帰属する旨を定款に定めていないこと	
法人税率	30％（所得金額年800万円以下の場合は22％）			所得税
みなし寄附金税制（注３）	あり	なし		なし
寄附金税制 （注４）	あり	なし		なし
法人格取消等	公益性不認定で一般社団法人へ （他の類似した法人等に公益目的取得財産残額を贈与）	なし		なし

（注１）最終事業年度の損益計算書の収益に計上した額の合計額千億円以下、損益計算書の費用及び損失に計上した合計額千億円以下、貸借対照表の負債の部に計上した合計額50億円以下。
（注２）認定法第５条第１号から第18号までを全て満たす必要がある。
（注３）公益法人において収益事業の資産から公益目的事業の為に寄附金とみなし支出する（損益算入）ことが出来る。
現行では20%、新法では50%がみなし寄附金とすることができる。
（注４）個人や会社等の法人が公益法人に寄附した場合、所得から寄附金控除ができる。寄附を受けた公益法人には譲渡所得等の非課税の特例がある。

【参考資料】新潟県歯科医師会：新歯界　１月号№691 2010 「公益法人制度改革について」

国保だより

厳しいながら赤字回避

― 臨時組合会 ―

後期高齢者医療の見直しに対応して

7月24日(土)午後3時から県歯会館で、平成22年度熊本県歯科医師国民健康保険組合臨時組合会が開催され、総議員30名中28名の出席により会議の成立を稲葉議長が宣言し開会された。

―― 浦田理事長挨拶 ――

「本組合も平成21年度より順調に推移して22年度に入っております。本日は21年度の決算の話が主ですが、お蔭様で21年度の決算は赤字にならなくて済みました。3月の組合会の時点では少し赤字になるだろうと予想していましたが、インフルエンザ等の影響が思ったより少なく給付が安定した為と思われます。ただ今日の協議題の方に上がっていますが、将来の見通しは大変厳しいものになっております。今後の組合会の方向性ということでご検討いただきたいと思います。

昨日、後期高齢者医療の見直しについて民主党から発表がありましたが、内容的には元に戻るような感じであります。平成25年度に向けて今年中に方向性が見えてくると思うので、それに向けて本組合も注意深く推移を見守っていきたいと思います。」

次に議事録署名人に田中議員(熊本市)、山口議員(八代)が指名され、その後組合員物故者に対して黙祷が行われた。続いて上野副理事長と桑田常務理事から、会務報告及び業務報告があった。議題は以下の5議案が上程された。

第1号議案：平成22年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出補正予算(案)の承認について
第2号議案：平成21年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出決算について
第3号議案：平成21年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出決算剰余金処分(案)の承認について
第4号議案：平成21年度熊本県歯科医師国民健康保険組合役職員退職手当積立金特別会計歳入歳出決算について
第5号議案：平成21年度熊本県歯科医師国民健康保険組合役職員退職手当積立金特別会計歳入歳出決算剰余金処分(案)の承認について

監査報告：矢毛石監事より適正に処理されている旨の報告があった。

採決に移り第1号議案～第5号議案は、いずれも賛成多数で原案通り承認可決された。

質問：髙水間議員(鹿本郡市)

Q：子宮頸癌ワクチン接種費用の補助を考えておられないか？

A：ワクチン自体の有効性がまだ確立されておらず、子宮頸癌の定期健診に代わるものでなく、あくまでも定期健診は必要であります。本組合としては、対象が一部の人であり自治体で補助すべきと考えておりますが、状況を見極めながら判断したい。

続いて協議に移り、上野副理事長より今後の熊本県歯科医師国民健康保険組合の運営の見通しについて以下の3項目に分けて説明があった。

1、平成22年度以降の収支の見通しについて
2、新聞報道における国保組合、健保組合等の積立金の状況について
3、将来の安定した運営を行うには

「平成22年度は単年度赤字の予想であり、組合運営は大変厳しい状況です。積立金を取り崩しながら平成25年度の後期高齢者医療の見直しを見据えて慎重な運営をしていきたい。」

最後に中原理事の閉会の辞で散会となった。

活発に意見が出された

（森口　茂樹）

義歯難症例への対応

― 学術講演会 ―

学術委員会

. 7月25日（日）県歯会館４Ｆホールにて、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座歯学補綴学分野　村田比呂司教授をお招きし「リライン材の正しい使い方と機能的効果ならびに義歯安定材の正しい患者指導」と題して学術講演会が開催された。参加者は156名で、浦田会長の挨拶にはじまり講演が行われた。まず日本の現在から将来にかけての年代別人口分布の変化、そしてこれから迎える超高齢化社会の問題点について指摘された。床義歯の需要は、今後ますます高まるとともに難症例への対応が術者に求められると述べられた。身体機能の低下が著しい高齢者は口腔内の学習能力も低下しているため、口腔内の環境が大きく変化する新製義歯よりもリラインで旧義歯を改善する方が咀嚼・嚥下の両面でより効果的である。特に著しく吸収した顎堤や、菲薄な床下粘膜を持つ患者さんにはリリーフ等の処置を繰り返すよりも軟質リライン材を応用した方が好ましいと強調された。

軟質リライン材はアクリル系とシリコーン系があり、それぞれ常温重合型、加熱重合型に分けられる。アクリル系は床用レジンに近く接着性・粘弾性に優れ、装着感が良好で咬合力もより強く発揮できるが、劣化しやすい点から軟質リライン材を使う場合はシリコーン系を推奨された。また臨床で注意する点として、リライン前にティッシュコンディショナーを用いて床下粘膜を可及的に正常な状態に戻し、そこで得られたダイナミック印象面を軟質リライン材で置換する。その際にリライン材の厚みを約２mm程度の厚みで均等に確保する事が重要だと解説された。

後半は、義歯安定材について話があった。米国では75%の歯科医が総義歯患者に安定材の使用を奨めており、使用について反対する歯科医はごく少数である統計を提示された。

詳しく解説される村田教授

日本補綴歯科学会でもクリーム状・粉末状・ジェル状のもので歯科医の管理下における短期使用については問題ないとの見解であるとのことだった。ただし現在の日本での義歯安定材の市場120億円の中で、その約半数が患者さんにとっては取り扱いの難しい床下粘膜の隙間を埋めるクッションタイプであることについては歯科医として警鐘を鳴らすべきだと述べられた。以上、午前中の半日であったが非常に有意義な講演会であった。

村田教授が臨床で使用している材料

- 硬質リライン材（常温重合型）
  クラリベース（クラレメディカル）
- 硬質リライン材（光重合型）
  リベロンLC（ジーシー）
  トクソーライトリベース
  （トクヤマデンタル）
- 軟質リライン材（アクリル系）
  バイオライナー（ニッシン）
- 軟質リライン材（シリコーン系）
  ソフリライナータフ（トクヤマデンタル）
- ティッシュコンディショナー
  ソフトコンディショナー（ジーシー）
  フィットソフター（デンツプライ三金）

（学術　添島　義樹）

学校歯科医の基礎研修受講率のアップを

― 九州地区学校歯科医会役員連絡協議会 ―

学校歯科委員会

８月７日（土）午後２時から平成22年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会が、日本学校歯科医会から中田会長・柘植副会長をはじめ常務・事務局長、また鹿児島県より教育次長・保健体育課長をお招きし、鹿児島県歯科医師会館内小ホールにて行われた。

各県担当者会となっていないのは、福岡が県と市に分かれていたり、県歯の委員会としてきているところや、日学歯の支部として来ているところがあるからです。

鹿児島県歯科医師会・門松副会長の挨拶、来賓挨拶そして日学歯の報告のあと協議に移った。まず最初に、平成22年度九州地区学校歯科関係事業計画及び予算についての協議があり、続いて各地区提出協議題についての話し合いが行われた。

予算については、各県・各地区の規模に差があり、また地域歯科に包括されているところもあったりして一概に比較することは出来なかった。

各県からの報告で、本県からはこの間作成して皆様にお配りした健診早見表の説明や事業報告等を行った。

他県の事業で興味深かったのは、

大分県ではフッ化物の公開市民講座の開催

宮崎県は図画ポスターの入賞作品をカレンダーにして関係各所に配布

鹿児島県は、養護教諭のステップアップ研修会を開催していることなどであった。

各地区提出協議題で、う蝕ハイリスク児に

各県で特徴的な活動が

対する対応についてでは、ネグレクト等の児童虐待との関連などで活発な意見が交換された。これについて日学歯から、保護者の歯科治療に対する意識の低さなども考えられるため注意が必要です、歯科健診の後に家庭訪問等をしていただくなど学校側と健診の時期などを話し合ってくださいとのことであった。また、学校保健委員会の設置率は高いが、委員会の実施率はどうかとの質問があったが、ほとんどの地区は把握してなかった。他には、学校歯科医の基礎研修の受講率が低いことが話題にあがった（因みに熊本県は約26%）。我々も受講率アップについて、委員会で話し合っていきたいと思う。休憩なしの３時間の長丁場であったが、とても実りのある会議だった。

その後懇親会では、連絡協議会で聞けなかった話を色々と聞かせてもらうことができた。また連絡先なども交換することができ、今後の委員会活動に活かして行きたいと思う。

（学校歯科　田端　祐亮）

院内感染対策を万全に

― 医療安全・院内感染対策講演会 ―

医療対策委員会

８月７日（土）午後３時から県歯会館４階ホールにて、医療安全・院内感染対策講演会が行われた。会員、歯科医療関係従事者等多くの参加者があった。前野副会長の開会の辞の後、浦田会長の挨拶が行われた。

最初に医療対策委員会岡田副委員長から、医療安全管理対策書についての使用方法と詳しい解説が行われた。

本県の医療安全対策書は、平成19年度より作成を開始し、改訂を繰り返し、22年３月、医療対策委員会によって最終版が完成された。各種報告書書式の簡素化、薬剤等の管理表の明確化等、使い易さを追及した対策書に仕上がっている。

次に、「感染症の脅威」と題して、日歯中尾薫常務理事から講演があった。昨年流行したインフルエンザに対しての感染対策から話が始まり、感染症の基本的な事項、Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎について基礎知識とその対策等が説明された。今回のメインは、日歯と厚生労働省の協同のもとに作成された「一般歯科診療ガイドライン院内感染対策Ｑ＆Ａ」の詳しい説明が行われた。このリーフレットは８月号の日本歯科医師会雑誌と共に送付されている。

このリーフレットの解説は全国に先駆けて本県において行われた。

内容は、Ｑ＆Ａ形式で、

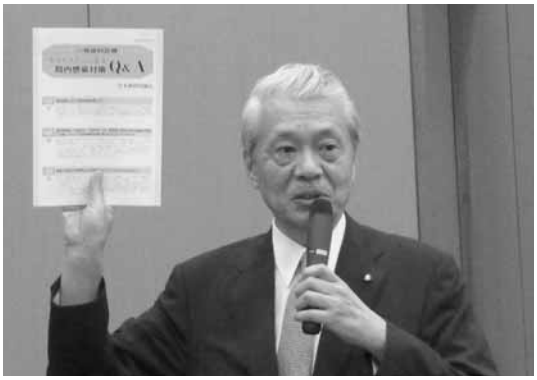
Ｑ１．歯科診療における院内感染対策とは？

Ｑ２．歯科診療室へＢ型肝炎、Ｃ型肝炎、HIV感染症の既往のある患者が来院した時にどのように院内感染対策を考えればよいのですか？

Ｑ３．唾液や血液内の感染源となる微生物はどのようなものがあるか？

Ｑ４．歯科治療時に手袋は必要か？必要なら、どのような条件で交換すべきか？

Ｑ５．手袋着用前の術者の基本的手洗いの方法は？



院内感染対策に関する日歯リーフレットの解説をされる日歯中尾常務理事

Ｑ６．歯科治療時の術者・介助者のマスク、キャップ、術衣はどうすべきか？

Ｑ７．歯科診療室の院内感染対策として、環境作りに関しては何を考えるとよいか？

Ｑ８．歯科診療用器具・器材の消毒・滅菌はどうすればよいか？

１）ユニットから着脱可能な器具・器材

Ｑ９．歯科診療用器具・器材の消毒・滅菌はどうすればよいか？

２）患者の口腔内に挿入した器具・器材

Q10．歯科診療用器具・器材の消毒・滅菌はどうすればよいか？

３）口腔内に直接触れない器具

Q11．歯科診療用器具・器材の消毒・滅菌はどうすればよいか？

４）オートクレーブによる滅菌ができない器具

Q12．エックス線撮影時に考慮しなければならない院内感染対策は何か？

Q13．歯科診療中の曝露事故予防にはどう対応するとよいのか？

Q14．歯科診療中の曝露事故後の対応は？

各歯科医院においてこのリーフレットをスタッフ全員で読み込み確認して院内感染対策を万全にして行く事が重要だとの認識を得た。

（医療対策　我那覇　生純）

郡市会だより

上益城郡会員釜山を行く

― 臨時総会および親睦旅行 ―

上益城

7月3日(土)、4日(日)両日に臨時総会及び親睦旅行が行われた。今年は、8年ぶりの海外旅行で韓国釜山へ向け、午前7時に玉置歯科をマイクロバスで出発した。

福岡空港までの道中、臨時総会が行われ、江藤会長が「久しぶりの海外旅行ですが、この旅行は私が入会する以前からずっと続いています。先輩後輩が分け隔てなくなんでも話し合え、会員の声をまとめてひとつに出来る場でもあります。楽しく過ごしましょう」と挨拶を行った。続けて報告事項として①宇城三郡市役員会②会長専務会議③各委員会報告④歯の衛生週間⑤その他についての報告があった。

次に協議事項として①年間事業計画日程案②三師会合同研修会③祝い事においての事業案④その他について審議され、8時30分に福岡空港に到着、10時40分に釜山へ向け飛び立った。

正午釜山空港から貸し切りバスにて、市内の石焼ビビンバ有名店に到着。さっそくご当地ビールを飲みながら本場のキムチとビビンバを食した。腹ごしらえも済み、ほろ酔い気分の一行は、釜山市民憩いの場である龍頭山公園へ出向き豊臣秀吉の軍を撃退した水軍の師、李舜臣の像を見学した後公園内にある釜山タワーに上り市内を一望した。この後、国際市場へ行きスタッフや家族のための土産物をたくさん買い込んだ。中には奥様や娘さんのために韓流スターの買い物で大忙しの方もいたようだ。

乾杯、さあ食べるぞ

俗世から仏の国への入り口

次に宿泊地のロッテホテル釜山内の免税店を見て回った後、同じくホテル内にあるカジノを体験。皆頑張っていたようであるが、上益城郡会員の中には名ギャンブラーはいなかったようだ。

お腹もすいてきた6時頃焼肉店に行き、ビール、マッコリを飲みながら骨付きカルビ等を堪能した。この後は自由行動となり、2次会、夜市見学、カジノリベンジコースに分れ釜山の夜を満喫した。ただ、朝が早かったせいか、皆早めにご就寝となったようだ。

二日目は、ホテルで朝食を取った後バスで一路慶州へ向け出発、車窓から天馬塚（古墳公園）をながめながら約2時間で仏国寺に到着。俗世と仏の国を分ける伽藍を配置し、石段を登り奥へ進むほど浄土に近づくような感じのお寺であった。

この後慶州博物館で韓国の歴史に触れ、昼食に海鮮鍋を食べアメジスト館や登り窯のある韓国青磁を見物しキムチ専門店に立ち寄り、高速を使い空港へ向かった。韓国の高速道路は、日本と比較すると整備されてなく、なおかつ120キロのスピードで走り、往復4時間バスに乗っていたため、お尻がかなり痛かった。

空港内の免税店で最後の買い物をして、午後5時40分に釜山を後にし、8時30分に玉置歯科医院到着後解散となった。

二日間ハードスケジュールであったが、料理もおいしく、皆和気あいあいの楽しい親睦旅行であった。　（佐藤　昭彦）

郡市会だより

8年間の臨床統計ならびに興味深い症例

― 上半期学術講演会 ―

水俣・芦北

7月17日（土）、国保水俣市立総合医療センター研修室にて、同センター歯科口腔外科の牧　正啓氏をお招きして学術講演会が行われた。水俣総合医療センターは、水俣市、芦北町ならび出水市や大口市などの中核病院である。歯科口腔外科は平成14年11月に開設された。その多くの患者さんは上記地区からの紹介である。今回はその約8年間の臨床統計ならび興味ある症例について講演して頂いた。

さて、外来患者疾患別で上位は、①炎症②埋伏歯③口腔粘膜疾患④外傷⑤顎関節疾患となっている。ここまでの入院患者総数は950件、そのうち752件が手術症例となっている。上位疾患としては、①嚢胞性疾患②炎症性疾患③ 腫瘍性疾患④外傷⑤有病者歯科治療となっている。

また、興味ある症例は試験に必ず出題されていたが、われわれ一般歯科医では遭遇する機会が少ないエナメル上皮腫や基底細胞母斑症候群、通常では口蓋に多い多形線腫が上口唇に発症した珍しい一例、高齢者の口蓋裂手術症例、最近話題になっているBP製剤による骨髄炎などの供覧を行った。

752/950 件が手術症例!!

今回の研修会は肥薩臨床歯学研究会と合同で行われた。同研究会は歯科口腔外科を事務局に、水俣芦北郡市歯科医師会、出水郡市歯科医師会、薩摩郡歯科医師会などで結成されている歯学全般の臨床研究会である。会員発表や外部講師を招いて行っている。平成16年に結成されて以来、今回で第13回を迎えた。今後も県境を越えた交流を行っていきたい。

（井上　真樹）

真夏の海に歓声が上がる！

― 第15回　荒尾・玉名・鹿本・菊池親睦釣り大会 ―

荒尾・玉名・鹿本・菊池

長かった梅雨が前日ようやく明けた、7月18日（日）下りの小潮、月齢6．3の釣り日和。恒例となった今年度の「親睦釣り大会」が催された。

午前9時の玉名漁港の出船時間において、すでに30℃を上回っている猛暑日。無風快晴ベタ凪の有明海で、城北地区歯科医師会の太公望たちが自慢のウデを競った。

2隻の漁船に分乗した、4名の子供を含む総勢15名の参加者によって、熱戦の火ぶたが切って落とされた。

今年は例年と比べて、キスの数・型ともに今イチで、シュモクザメが上がった昨年とは異なり、驚くような外道の珍魚が釣れることもなかった。

「釣り大会」で奮戦した、たくましい海の男と子供たち

しかし、釣り大会に参加した子供たちの目には、日頃のグータラなパパとはチョット違って、真夏の海で次々に魚をゲットする、逞しくも頼れる父親像が、その純粋な瞳に新鮮な驚きとともに、シッカリと焼き付けられた様子であった！

釣果の順位は以下の通りだった

【キスの部】

優　勝	疋田　貴之（荒尾）	23.8cm
準優勝	林　　Ｊｒ（菊池）	23.0cm
三　位	田中　　仁（鹿本）	22.5cm
ブービー賞	古屋敷Ｊｒ（荒尾）	20.5cm

【他魚の部】

優勝	田中　　康（玉名）	サカタザメ（48.5cm）
準優勝	田中　文丸（荒尾）	イラ（23.0cm）
三位	山本　　宏（荒尾）	ホウボウ（21.0cm）
ブービー賞	林　　秀樹（菊池）	マダコ（20ｇ）

毎年7月に開催しています「親睦釣り大会」です。会員と御家族の皆様、お土産付きの夏のレジャーです、来年はどうぞ奮って御参加下さい！

（原口　　泰）

郡市会だより

介護への関わりかた

― 口腔機能向上研修会 ―

天草

天草市介護予防事業の口腔機能向上研修会が、天草市高齢者支援課の主催で7月31日、天草市の天草市民センター会議室で行われた。

本研修会は天草市における口腔機能向上事業を効果的に展開するために、介護予防事業が始まった時より毎年行われてきているものである。まず天草市より現状報告があり、今回は本会の青砥圭吾会員と、江南病院に勤務されている中村加代子歯科衛生士を講師にお招きし、青砥会員には口腔機能を向上・維持させていく上で必要な解剖を主体としたお話し、中村氏には高齢者を指導するうえでの注意事項と在宅や施設における介護の分野での歯科衛生士の関わり方を実習を含めたお話をいただいた。

口腔外科出身青砥会員の解説

現状をふまえた説明をする中村氏

① 歯科衛生士等が、天草市の口腔機能向上事業を理解する
② 歯科衛生士等が、事業の目的に沿った内容で実施できる
③ 請求事務が滞りなく実施できる

以上の3点をスムーズに行うために講演終了後、行政と会員及び歯科衛生士が意見を出し合い研修会は終了した。

（松本　信久）

お知らせ

熊本県糖尿病対策推進会議 講演会
—Diabetes Frontier Conference in Kumamoto—

日　　時　平成22年9月30日（木）　午後7時～午後8時30分
会　　場　ホテルニューオータニ熊本　3階「鳳凰」
（熊本市春日1-13-1　TEL 096-326-1111）
特別講演「β細胞を護る糖尿病治療　—インクレチン関連薬への期待—」
講　　師　山口大学大学院医学系研究科　病態制御内科学　谷澤幸生 教授
会　　費　無料
問 合 せ　ノバルティス ファーマ株式会社 熊本営業所
担当：堤　TEL:096-359-8668

※この講演会は「日本糖尿病協会歯科医師登録医のための講習会」に認定されていますので、講演会終了後、受講票が発行されます。

郡市会だより

高齢者の口腔ケアはなぜ大切か

― 人吉・球磨合同学術講演会 ―

人吉

8月7日午後3時、人吉市、鮎の里にて、主催：人吉市歯科医師会・共催：球磨郡歯科医師会・後援：ハッピーネット連絡会による、人吉・球磨・合同学術講演会が行なわれた。今回は講師に、鹿児島市パールランド病院歯科の新屋俊明医長を迎えて、「高齢者の口腔ケアはなぜ大切か」という演題で講演がなされた。歯科関係者を中心に、介護関係者あわせて110人が、今回の講義を受講した。花田会員の進行、人吉市歯科医師会 今藤会長の挨拶で講演は始まった。内容は、人の嚥下の特徴・誤嚥性肺炎の兆候と防止法・嚥下においての歯科の重要性・チーム医療の必要性であった。講演会後の懇親会では、斉藤会員の進行、球磨郡歯科医師会 秋山会長の挨拶、乾杯で始まり、球磨郡歯科医師会 塚本会員の一本締めで幕をとじた。「歯科医師の知識に少しの知識を加えることで、咀嚼、嚥下リハビリテーションが完成する」との言葉が印象に残った。誰にでも必ず訪れるであろう老後に、またハイパー高齢化社会に、介護なしで、終末がおくれるようになりたいものだ。　（瀬戸　雄行）

ハイパー高齢化社会に向けて!!

めずらしい蒸し豚に舌鼓

― 研修旅行 ―

八代

7月10日（土）、11日（日）の2日間におよぶ恒例の八代歯科医師会研修旅行が行われた。今回は鹿児島グルメツアーで黒豚、マグロなどを堪能する贅沢な企画である。宮崎歯科医院の駐車場に会員29名が集合し八代を後にした。

いつものように、バスの中で昼間から、飲み会がスタートしたわけだが、本当にこの人達は歯医者か？と思わせるぐらいの勢いで飲み物が減っていく。

お酒が進むうちに、トイレ休憩の回数が増え、パーキングエリアにはほぼすべて停まり、皆、脇目もふらず苦しい形相でボルト並みのスピードで駆け込む姿が見られた。

夕方4時過ぎに鹿児島のホテルに到着。皆、一様にリラックスし、黒豚「華蓮」での夕食に備えた。めずらしい蒸し豚を味わいつつ会員同志の親睦を深めた。

2日目は、世界に名高い「沈壽官窯」にて歴代の名匠による焼き物を見物。至高の一品の値段を見てか価値が分かってか定かではないが、そこかしこから感嘆の声が上がった。昼食は、いちき串木野市にてマグロを味わい、その後、さつま揚げ工場にて出来たてをほおばった。

選挙の時期で、政策と歯科についての議論も多く交わされ、有意義なものとなった。

（山口　貴久）

グルメツアーも終盤へ

郡市会だより

よりよい医療活動の推進の為に

― 三師会総会 ―

荒尾

7月23日（金）午後7時よりホテルヴェルデにおいて、平成22年度荒尾市三師会総会並びに懇親会が開催された。本会は荒尾市の医師会、歯科医師会、薬剤師会が互いに協力して地域医療活動を推進することを目的として組織されたもので、各会の交流と親睦を図るために年1回この時期に総会が開催される。

当日は開会後、会長挨拶、新入会員の紹介が行われた後、議事へと移り以下の項目について順次報告、討議、承認がなされた。

1．平成21年度事業報告
2．平成21年度決算報告
3．平成21年度監査報告
4．平成22年度事業計画（案）
　①　健康福祉まつり（結果）
　②　いきいき健康づくり教育講座

歯科医師会を代表して挨拶する福嶋会長

　③　会員福祉研修に
5．平成22年度収支予算（案）
6．荒尾市長選の推薦

第6項では、市長の任期満了が近づくに伴い、市長選が行われる場合、三師会として現職の前畑淳治氏を推薦することで合意を得た。

議事終了後カラオケ大会などの余興が催され、会を超えて親睦を深めながら盛会の中閉会の時を迎えた。　（馬場　一英）

長期症例は物語る

～基礎資料収集の重要性～

― 夏季学術講演会 ―

菊池

7月24日（土）熊本市で開業の添島正和会員をお招きして、午後4時より菊池郡市歯科医師会館にて夏季学術講演会が開催された。

演題は『経過症例から咬合治療の妥当性を再考する』ということで

1　自己紹介
2　咬合安定の条件
3　長期経過症例から考慮した補綴構造設計
4　無歯顎における人工歯と顎堤吸収との相関関係
5　日常臨床における咬合治療の留意点

という項目にわけてご講演していただいた。

はじめに歯科医師という仕事が楽しくてすばらしいものだということを症例やご自身の経験から語られた。またストレスがかかる仕事のため、ストレスを溜めずにコントロールしていくことが大切であること、あいさつの重要性等、臨床以外でのためになる話も盛りだくさんだった。

その後30年近くにおよぶ長期経過症例等を提示され、基礎資料収集（顔貌写真、口腔内写真、X-RAY10枚法、パノラマ、歯周組織検査、スタディーモデル等）がいかに大切であるかを教えられた。その時代から口腔内写真等の基礎資料を収集されていることに会員一同驚いていた。またメインテナンス時に気になるところがあればスタディーモデルを作製し、治療後のスタディーモデルと比較すると変化を読み取りやすいとのことであった。

臨床以外のお話が盛りだくさん！

講演会後の懇親会では、若手のあんな質問こんな質問に気さくに答えられ、いつもスタイリッシュな添島会員の若さの秘訣が垣間見れた気がした。　（市川　康裕）

平成22年度　臨時代議員会　開催公告

平成22年８月31日

熊本県歯科医師会会員　各位

熊本県歯科医師会
会長　浦田　健二

１．開催日時：平成22年９月25日（土）　午後３時

２．開催場所：熊本市坪井２丁目４番15号　　熊本県歯科医師会館　４階ホール

３．議　　事：

第１号議案　平成22年度特別会計熊本県歯科医師会口腔保健センター収入支出補正予算（案）の承認を求める件

第２号議案　平成22年度一般会計熊本県歯科医師会収入支出補正予算（案）の承認を求める件

第３号議案　平成21年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出決算（案）の承認を求める件

第４号議案　平成21年度特別会計収入支出決算（案）の承認を求める件

第５号議案　熊本県歯科医師会入会金・会費・負担金賦課徴収施行細則の一部改正（案）の承認を求める件

第６号議案　熊本県歯科医師会選挙規則の一部改正（案）の承認を求める件

第７号議案　熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

第８号議案　日本歯科医師会選挙人選出方法の承認を求める件

第９号議案　絵画の収受及び使途についての承認を求める件

４．協　　議：（１）公益法人制度改革について
（２）未入会者対策について
（３）時局対策について
（４）その他

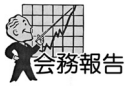
※代議員会は公開となっています。
傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意してありますので、ご来場下さい。

会長の動静 8月

日付	曜日	時間	行事内容	場所
8月3日	火	19:00	第９回常務理事会	県歯会館
8月6日	金	19:30	第7回連盟幹事会	県歯会館
8月7日	土	15:00	医療安全及び院内感染対策講演会	県歯会館
8月9日	月	15:30	第706回支払基金幹事会	支払基金
8月10日	火	17:00	日歯広報活動に係る打合会	日歯会館
8月16日	月	19:30	諸規則検討臨時委員会	県歯会館
8月17日	火	19:00	第１０回常務理事会	県歯会館
8月18日	水	19:30	歯の衛生週間実行委員会	県歯会館
8月19日	木	19:30	実習指導担当歯科衛生士研修会	学院校舎
8月20日	金	19:00	日本口腔外科学会熊本支部世話人会	ホテル日航
8月21日	土	13:30	九歯連役員会	ホテルニュー長崎
		15:30	全協九州支部幹事会	ホテルニュー長崎
		16:00	全協九州支部総会	ホテルニュー長崎
		17:00	全協九州支部役職員研修会	ホテルニュー長崎
8月23日	月	19:00	藤川たかお県議後援会のつどい	熊本市
8月24日	火	18:30	県障がい者支援総室との意見交換会	県歯会館
		19:00	第５回理事会	県歯会館
8月25日	水	19:30	日歯森岡理事との打合せ	県歯会館
8月26日	木	13:00	第５回日歯理事会	日歯会館
		16:00	中規模県歯科医師会連合会会議	アルカディア市ヶ谷
8月27日	金	14:00	第１１０回都道府県会長会議	日歯会館
8月29日	日	9:50	県学校保健研究協議大会	植木文化センター他

会　務　報　告

自　平成22年７月23日
至　平成22年８月19日



所管	日付	摘要	出席
総務	7月23日	熊本地域リハビリテーション支援協議会役員会（県医師会館）	小島副会長
	26日	第6回選挙管理委員会	福田委員長他全委員、小島副会長、渡辺専務理事、八木理事、永田総務委員長
		安心・安全歯科医療推進制度運営委員会　(1)基準達成申告者の認定 (2)日歯生涯研修事業修了者へのアプローチ　(3)患者から制度について問合せがあった場合のQ&A	小島副会長、牛島委員長他5委員
	27日	第22回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		第4回理事会　(1)新入会員の承認　(2)平成22年度臨時代議員会手続きスケージュール (3)平成22年度特別会計熊本県歯科医師会口腔保健センター収入支出補正予算（案）　ほか	浦田会長他中嶋副会長・勇理事を除く全役員
	28日	日歯役員合宿勉強会（第1日目）（日歯会館）	浦田会長
	29日	日歯役員合宿勉強会（第2日目）（日歯会館）	浦田会長
		日歯と記者会との懇親会（アルカディア市ケ谷）	浦田会長
		歯科医療安全小委員会　医療安全管理対策書の校正	前野副会長、片山理事他2委員
	30日	九州各県事務局長連絡会（佐賀県歯会館）	澤田事務局長
	31日	21世紀プロジェクトワーキンググループ作業部会（B班）	渡辺委員長他4委員
	8月2日	歯科医療安全小委員会　医療安全管理対策書内容の検討	前野副会長、片山理事他2委員
	3日	第9回常務理事会　(1)諸規則検討臨時委員会の設置（案）　(2)会務報告（平成22年度臨時代議員会） (3)平成22年度臨時代議員会の日程資料　ほか	浦田会長他小島副会長・宮坂常務理事を除く常務理事以上全役員、八木理事

所管	日付	摘要	出席
総務	6日	県による本会の業務及び財産状況立入検査	渡辺専務理事、西野常務理事
	7日	医療安全及び院内感染対策講演会　受講者:149名　講師:日歯・中尾薫常務理事	浦田会長、前野副会長、渡辺専務理事、片山・八木・竹下理事他9委員
		月次監査　H21年度収益事業決算監査、H22.7月末現況監査	遠山・片山監事
	9日	第706回支払基金幹事会(支払基金)	浦田会長
		第4回県医療・保健・福祉連携学会第2回企画実行委員会(県医師会館)	小島副会長
		第3回新法人設立検討臨時委員会	八木委員長他6委員
	10日	日歯広報活動に係る打合会(日歯会館)	浦田会長
		諸規則検討打合せ	小島副会長、渡辺専務理事、八木理事
	12日	県体育協会第1回財務特別委員会(ホテル日航熊本)	澤田事務局長
	16日	諸規則検討臨時委員会	千場委員長他全委員、浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、八木理事
	17日	第10回常務理事会　(1)熊本歯科衛生士専門学院学則及び同細則の一部改正(案) (2)入会金・会費・負担金賦課徴収施行細則の一部改正(案)　(3)選挙規則の一部改正(案)　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、八木理事
	19日	第4回新法人設立検討臨時委員会	八木委員長他6委員、吉永会計士
		東京海上日動火災本社役員との面談	西野常務理事、竹下理事
学術	7月25日	学術講演会(義歯裏装等)　受講者:156名　講師:長崎大学大学院　村田比呂司教授	浦田会長、小島副会長、牛島理事、添島委員長他4委員
	30日	学術委員会 (1)CT依頼に関するアンケート結果公示　(2)DVD研修&会員発表　(3)小児救急救命講演会	牛島理事、添島委員長他全委員
	8月3日	県糖尿病対策推進会議実務者研修会(県医師会館)	牛島理事
	5日	精神神経疾患に関する講演会(第1回城南地区)　受講者:46名　講師:明治製菓(株)薬品福岡支店学術部グループ　渕上豊彦課長	牛島理事、添島委員長他1委員
社会保険	7月24日	社会保険個別相談会　相談者:2名	勇理事、田中委員長他6委員
		社会保険委員会 (1)会員向け発行物　(2)個別指導立ち会い・個別相談会　(3)厚労省共同指導　ほか	勇・前田理事、田中委員長他6委員
	29日	保険個別指導(県庁)	反後副委員長
	31日	社会保険個別相談会　相談者:3名	清水副委員長他3委員
	8月7日	社会保険個別相談会　相談者:3名	勇・前田理事、田中委員長他6委員
	12日	保険個別指導(県庁)	宇治・渡辺・金本委員
地域保健	7月24日	九州口腔衛生学会幹事会(長崎大学)	田上理事
	25日	九州口腔衛生学会(長崎大学)	宮坂常務理事、田上理事
	8月3日	県老人クラブ連合会健康づくり講演会(合志市)	今村友信会員
	5日	地域保健小委員会　(1)標準的な成人歯科保健の提案	田上理事他3委員
	10日	県健康づくり推進課との打合せ　(1)早産予防モデル事業打合せ　(2)同事業説明会打合せ	宮坂常務理事、田上理事
		第1回笑顔ヘルCキャンペーン打合せ　(1)昨年度の報告　(2)中央イベント　(3)告知方法　ほか	宮坂常務理事、田上・加藤理事
	18日	歯の衛生週間実行委員会　(1)規約の一部改正　(2)歯の祭典　(3)高齢者よい歯のコンクールの名称	浦田会長、渡辺専務理事、宮坂・西野常務理事、田上・大林・加藤理事
		地域保健小委員会　(1)早産予防モデル事業　(2)笑顔ヘルCキャンペーン	宮坂常務理事、田上理事、川瀬委員長他1委員
厚生・管理	7月31日	未就業歯科衛生士リカバリー研修会(1日目)　1日目受講者数:18名(学院校舎)	伊藤学院長、竹下理事、宮本委員
		荒尾市健康診断(荒尾市中央公民館)	坂田輝之会員

所管	日付	摘要	出席
厚生・管理	8月1日	未就業歯科衛生士リカバリー研修会（2日目）　2日目受講者数:13名（学院校舎）	伊藤学院長、竹下理事、境委員
	19日	熊大口腔外科との打合せ	竹下理事
広報	7月28日	テレメッセ打合せ　（1）8月5日放送分	加藤理事
	30日	広報小委員会　（1）会報8月号・第2回校正	加藤理事、立本委員長他1委員
	8月2日	県健康福祉部ねんりんピック推進室取材対応　（1）高齢者の歯に関する取材（熊本市）	加藤理事
	5日	NHKテレメッセ出演（NHK熊本）	加藤理事
	17日	広報委員会　（1）会報9月号・編集	加藤理事、立本委員長他全委員
学校歯科	8月7日	九州地区学校歯科医会役員連絡協議会（鹿児島県歯会館）	大林理事、田畑委員
	11日	学校歯科委員会 （1）九州地区学校歯科医会役員連絡協議会の報告　（2）学校歯科研修会　（3）定款諸規則　ほか	大林理事、岩本委員長他4委員
	19日	県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野常務理事
医療対策	7月24日	各郡市医療相談担当者会　（1）21年度の総括から見た今年度の基本姿勢　（2）患者対応の基本姿勢と注意点	浦田会長、前野副会長、片山理事、冨屋委員長他6委員
	26日	医療相談	前野副会長、片山理事他2委員
	29日	医療対策小委員会　双方向コミュニケーションの内容検討	片山理事、遠山監事他2委員
	8月4日	医療相談	前野副会長、片山理事他2委員
	6日	医療対策小委員会　（1）九州各県担当者会議提出協議題回答 （2）実習指導者に対する研究講演内容　（3）事例分析・検討の在り方	片山理事、冨屋委員長
	11日	県警並びに弁護士との協議会	小島・前野副会長、渡辺専務理事、片山理事他2委員
	12日	医療対策小委員会　熊本県警察歯科医会会則について検討	前野副会長、岡田副委員長他2委員
	16日	医療対策小委員会　苦情の多い会員に対しての対応並びに検討	前野副会長、片山理事
	18日	医療対策委員会　（1）事例報告・検討　（2）全体委員会の内容のあり方 （3）双方向コミュニケーションガイド　ほか	前野副会長、片山理事、冨屋委員長他6委員
センター・介護	7月30日	センター・介護委員会　（1）口腔センター運営　（2）障がい者歯科研修会・障がい児口腔ケア研修 （3）診療内容のガイドライン　ほか	松岡理事、松岡委員長他全委員
	8月2日	口腔保健センターカルテ・会計チェック（口腔保健センター）	松岡理事
学院	7月24日	第1回学院体験入学　参加者:39名	
	30日	学院運営審議会　（1）熊本歯科衛生士専門学院学則及び細則の一部改正（案） （2）専任教員の研修会受講内規（案）　（3）自動販売機の設置	浦田会長、伊藤学院長他8役員
	8月7日	第2回学院体験入学　参加者:34名	
	16日	教務委員会　（1）平成22年度第4回実習指導担当歯科衛生士研修会開催（案）	伊藤学院長他6委員
	19日	矯正実習手帳検討会	岩切主任他1名
		実習指導担当歯科衛生士研修会	浦田会長、伊藤学院長他7委員、前野副会長、片山理事
国保組合	7月24日	第3回国保理事会（臨時）　（1）平成22年度臨時組合会	浦田理事長他全役員、稲葉議長、秋山副議長
	24日	国保臨時組合会　（1）平成22年度歳入歳出補正予算（案）の承認　（2）平成21年度歳入歳出決算 （3）平成21年度歳入歳出決算剰余金処分（案）の承認　ほか	28議員、浦田理事長他全役員
	28日	熊本県国保連合会通常総会（KKRホテル熊本）	桑田常務理事

社団法人 熊本県歯科医師会 会員のみなさまへ　2010年度

会員専用 グループ保険制度のご案内

Ⅰ. 団体定期保険（S51）（死亡保障プラン）会員・配偶者
＜災害保障特約（S51）＞

Ⅱ. 新医療保障保険（団体型）（医療保障プラン）会員・配偶者・こども
＜手術特約/家族特約/家族手術特約＞

グループ保険制度の7つの特徴

- お手頃な保険料で、死亡保障・入院保障を準備できます。
- 入院1日目から保障の対象となります。（医療保障プラン）
- 保険期間は1年で、毎年保障の見直しができます。
- 配偶者・お子様も会員ご本人とセットでお申込みになれます。
  ※団体定期保険（S51）は配偶者のみとなります。
- 医師の診査がなく、告知書の提出のみで簡単に申込みになれます。
- 団体定期保険（S51）・新医療保障保険（団体型）それぞれ剰余金があれば、配当金として還元されます。保険金・給付金のお支払状況等によっては配当金が0になる場合があります。
- 付帯サービス（健康コール24などのサービスを利用できます。）（医療保障プラン）

申込締切日：毎月15日

保険期間：2010年8月1日（保障が開始する日）
～2011年7月31日

申込書提出先：熊本県歯科医師会　事務局

10 行事予定

5日（火）	第13回常務理事会
16日（土）	九州歯科医学大会
19日（火）	第14回常務理事会
26日（火）	第7回理事会
30日（土）	シニア倶楽部

編集後記

今年の夏は暑い！！
夏バテしないようにたくさん食べて
逆に太ってしまった。
高校野球も熱い！！
久しぶりに熊本県代表が8強入りして、
ビールがうまい！！

（M.M）

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2010年9月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷